



長瀬小は防潮林の再生活動に参加しています。(左上からとけい回りに)「指導していただいている地元の渡辺隆さん」「松の種を観察する4年生」「5年生の植え替え作業」「海岸に植栽する6年生」

長瀬小学校では総合的な学習の時間に「わたりグリーンベルトプロジェクト」に参加しています。東日本大震災によって流されてしまった防潮林

総合的学習

防潮林再生へ松を育てる

を、地元の人たちの力で再生させる活動です。私たちは4年生から6年生までの3年間、松を育てています。4年生では小さいポットに苗を植え、「来年見る時にはもっと大きくなっていきますように」と願いを込めます。5年生では30センチほどになった松をプランターに移し替えます。6年生になると、50センチほどに成長した木を海岸に植えに行きます。実際に植える場所はその年ごとに決まっています。もし将来、また大震災が起こっても、未来に生きる人々が津波の被害に遭わないように願っ



編集委員 門脇芽杏雅 森陽愛 (6年) 指導教諭 笠松義幸

長瀬小

学校名 亘理町立長瀬小学校 所在地 亘理町長瀬南原193の76 電話 0223(36)2023 校長 石河 秀一 児童 139人



幸せ届ける活動

長瀬小みまつ児童会はSDGs(持続可能な開発目標)の活動として「すべての子どもに幸せ、おいしい水や食事、夢を届ける」というテーマで、ユニセフ(国連児童基金)募金を行いました。放送や昇降口で協力を呼びかけました。募金は郵便局からユニセフ協会へ送る予定。一人でも多くの子どもの幸せに役立てられることを願います。



次回は 住吉台小(仙台市) 鬼首小(大崎市)

寄磯小

学校名 石巻市立寄磯小学校 所在地 石巻市寄磯浜五梅沢24 電話 0225(48)2315 校長 黒須 功太郎 児童 7人



校庭にシンボル

寄磯小の校庭には「Yoriiso deer」というシカの石像があります。約50年前からあるようですが、詳しいことはだれも分かりません。元々はフェンスの外にありましたが、おうちの方の協力で、2年前に金華山や寄磯浜を一望できる校庭へお引っ越ししました。これからはぼくたちを見守ってくれる寄磯小のシンボルです。



海洋体験の様子。(左上からとけい回りに)「ホヤの引きあげ」「ホヤの袋(ふくろ)づめ」「箱めがねでウニをさがす」「ウニを洗いながら残ったわたを取り除く」

寄磯小学校では毎年、地元の家や漁業に親しむ「海洋体験」を行っている。行事です。ぼくたちの住む寄磯浜

おらほの浜

海洋体験 地域の産業学ぶ

・前網浜では、ほとんどの方が漁業に携わっています。そのため、海洋体験では地域の方々が生として教えてくれます。ぼくたちはこれまで、ホヤの養殖やウニ、タコ取りを体験しました。養殖体験では地域の方の船で沖まで行き、成長したホヤを海から引きあげ、浜でむきました。ウニ取りでは船に乗って、先につめの付いた棒状の道具「カギ」を使い、海底にいるウニを捕まえました。タコは沖に行き、海底に仕掛けてあった専用のかごをあげて、取りました。どの活動も海のおいを感じな



編集委員 鈴木聡祐(6年) 濱 烟宿生、渡辺洗成(5年) 指導教諭 石森慧

がら、毎回楽しく活動しました。海洋体験は、地域の産業に触れ、地域で働く方々と触れ合える大切な行事です。自分たちの宝である「おらほの海」について、深く考えることができそうです。これからも大切にしていきたいと思っています。